

再評価結果（平成20年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：下保 修

事業名 一般国道241号 <small>おびひろきた</small> 帯広北バイパス	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 北海道開発局															
起終点 自：北海道 <small>かとう</small> 河東郡 <small>おとふけ</small> 音更町 <small>きょうわ</small> 共和 至：北海道 <small>おびひろ</small> 帯広市西17条北1丁目 <small>じょうきた ちようめ</small>		延長 12.5 km															
事業概要 一般国道241号は、弟子屈町から、音更町を経由して、帯広市に至る約151kmの幹線道路である。帯広北バイパスは、円滑なモビリティの確保、農林水産品流通の利便性向上、個性ある地域の形成、北海道横断自動車道との一体的整備など、地域の流通や産業の振興に大きく寄与することを目的とした延長12.5kmの事業である。																	
S58年度事業化		S58年度都市計画決定															
S59年度用地着手		S60年度工事着手															
全体事業費 311億円	事業進捗率 97%	供用済延長 10.6km															
計画交通量 18,900台/日																	
費用対効果分析結果	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">B/C</td> <td style="text-align: center;">(事業全体)</td> <td style="text-align: center;">2.2</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(残事業)</td> <td style="text-align: center;">(事業全体)</td> <td style="text-align: center;">2.7</td> </tr> </table>	B/C	(事業全体)	2.2	(残事業)	(事業全体)	2.7	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">総費用</td> <td style="text-align: center;">(残事業)/ (事業全体)</td> <td style="text-align: center;">10 / 584 億円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(事業費)</td> <td style="text-align: center;">(事業費)</td> <td style="text-align: center;">8 / 543 億円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(維持管理費)</td> <td style="text-align: center;">(維持管理費)</td> <td style="text-align: center;">2 / 41 億円</td> </tr> </table>	総費用	(残事業)/ (事業全体)	10 / 584 億円	(事業費)	(事業費)	8 / 543 億円	(維持管理費)	(維持管理費)	2 / 41 億円
B/C	(事業全体)	2.2															
(残事業)	(事業全体)	2.7															
総費用	(残事業)/ (事業全体)	10 / 584 億円															
(事業費)	(事業費)	8 / 543 億円															
(維持管理費)	(維持管理費)	2 / 41 億円															
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">総便益</td> <td style="text-align: center;">(残事業)/ (事業全体)</td> <td style="text-align: center;">26 / 1,307 億円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(走行時間短縮便益)</td> <td style="text-align: center;">(走行時間短縮便益)</td> <td style="text-align: center;">25 / 1,249 億円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(走行費用減少便益)</td> <td style="text-align: center;">(走行費用減少便益)</td> <td style="text-align: center;">0 / 32 億円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(交通事故減少便益)</td> <td style="text-align: center;">(交通事故減少便益)</td> <td style="text-align: center;">1 / 26 億円</td> </tr> </table>		総便益	(残事業)/ (事業全体)	26 / 1,307 億円	(走行時間短縮便益)	(走行時間短縮便益)	25 / 1,249 億円	(走行費用減少便益)	(走行費用減少便益)	0 / 32 億円	(交通事故減少便益)	(交通事故減少便益)	1 / 26 億円	基準年 平成19年			
総便益	(残事業)/ (事業全体)	26 / 1,307 億円															
(走行時間短縮便益)	(走行時間短縮便益)	25 / 1,249 億円															
(走行費用減少便益)	(走行費用減少便益)	0 / 32 億円															
(交通事故減少便益)	(交通事故減少便益)	1 / 26 億円															
感度分析の結果 残事業について感度分析を実施 交通量変動：B/C=3.0（交通量 +10%） B/C=2.4（交通量 -10%） 事業費変動：B/C=2.5（事業費 +10%） B/C=2.9（事業費 -10%） 事業期間変動：B/C=2.7（事業期間+20%） B/C=2.7（事業期間-20%）																	
事業の効果等 ・円滑なモビリティの確保（現道等の年間渋滞損失時間（人・時間）及び削減率） ・物流効率化の支援（農林水産業を主体とする地域において流通の利便性向上が見込まれる） ・個性ある地域の形成（拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する） 他5項目に該当																	
関係する地方公共団体等の意見 広大な大地に19市町村が分散している十勝地域において、高規格幹線道路や地域高規格道路を補完して地域間の均衡ある発展と生活領域の拡大を図るため、十勝圏各市町村の首長および議会議長で構成される期成会より整備の要望を受けている。																	
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 北海道横断自動車道が、H7年度に十勝清水IC～池田IC間、H15年度に池田IC～本別IC～足寄IC間、H19年度に十勝清水IC～トナムIC間が供用。帯広・広尾自動車道が、H14年度に帯広JCT～帯広川西IC間、H17年度に幸福ICまでが供用。																	
事業の進捗状況、残事業の内容等 昭和60年度より工事着手して、用地進捗率100%、事業進捗率97%となっている。																	
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 引き続き事業が順調に進んだ場合、平成20年度の事業完了を目指している。																	
施設の構造や工法の変更等 橋台の土留め擁壁を補強土壁に変更するなどによりコストの縮減を図っている。																	
対応方針 事業継続																	
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。																	
事業概要図 <div style="text-align: center;"> </div>																	

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。